

日 程

13:00～14:00 分科会（実践交流）

分科会A 「多面的・多角的に考える」とは？
話し合いが活発になればなるほど、授業のねらいや内容項目から外れてしまいがち。
では、どうすればいいのか。

実践報告 八郷 正一 先生（城南中教諭） 実践例：熊本市わくわく授業研究会から
コーディネーター 藤本 正子 先生（北部中教諭）

分科会B 「自己の生き方についての考えを深める」とは？
どのような資料を使って、どのような授業をすれば、子どもたちは道徳を「自分の
問題」としてとらえるようになるのか。

実践報告 宮原 大輔 先生（附属小教諭） 実践例：教育学部附属小学校の研究授業
コーディネーター 田中 恒次 先生（附属小教頭） から

分科会C 「問題解決的な学習」とは？
どのような「問題」を取り上げ、どのような学習活動を行えば、道徳授業は「問題
解決的」になるのか。

実践報告 興梠 美帆 先生（桜木中教諭） 実践例：道徳教育モデル校の公開授業から
コーディネーター 出田 久斉 先生（桜木中教諭）

分科会D 「道徳的行為に関する体験的な学習」とは？
道徳で目指すのは「道徳的実践力」の育成であって、「道徳的実践」ではないと言
われてきた。これからはどうか。

実践報告 岩野 智典 先生（泉ヶ丘小教諭） 実践例：熊本市教育センター研究員の
コーディネーター 安井 琴美 先生（本荘小教諭） 取り組みから
境 理華 先生（帯山中教諭）

14:15～17:30 全体会（シンポジウム）
全体司会 教育学部准教授 今井 伸和

14:15～15:45 基調講演 「特別の教科 道徳」の指導法を考える
講演者 林 泰成 先生（上越教育大学副学長・日本道徳教育学会理事）

16:00～17:30 各分科会からの報告と全体討議
コーディネーター 教育学部長 八幡 英幸

講演者紹介

林 泰成 先生

◇ 主な職歴

- 1991（平成 3）年より 同志社大学文学部嘱託講師（1996 年まで）
- 1996（平成 8）年より 上越教育大学助教授（2007 年まで）
- 2007（平成 19）年より 上越教育大学教授（現在に至る）
- 2009（平成 21）年より 上越教育大学附属小学校長（2011 年 3 月まで）
- 2013（平成 25）年より 上越教育大学副学長（現在に至る）



◇ 主な著作

- 『ケアする心を育む道德教育』北大路書房（2000 年・編著）
- 『新訂 道德教育論』放送大学教育振興会（2009 年）
- 『人間としての在り方生き方をどう教えるか』教育出版（2010 年・共著）
- 『モラルスキルトレーニングスタートブック』明治図書（2013 年）
- 『特別の教科 道德の授業づくり チャレンジ』明治図書（2015 年・監修）